

コラム

【コラム 20】 「子どもと家族・若者応援団表彰」及び「社会貢献青少年表彰」

平成26年（2014）年度「子どもと家族・若者応援団表彰」において、子供・若者を育成支援する活動で内閣総理大臣表彰を受賞した3団体、「社会貢献青少年表彰」において、内閣府特命担当大臣表彰を受賞した団体から2団体を紹介する。



子どもと家族・若者応援団表彰



社会貢献青少年表彰

「子どもと家族・若者応援団表彰」(内閣総理大臣表彰)

(1) 地球クラブ (長野県)

地球クラブは、「子供たちの自立」と「自然とのつながり」をテーマに、子供たちに「生きる力」を身につけさせるべく、広大な里山を舞台に、自然体験プログラムとタイとの交流を柱とした活動を20年間継続している。約100人の会員が1年を通して参加することで、子供の成長や体験の積み重ねが実感でき、また、人とのつながりの中で新しい社会を構築しようとする意欲づくりにつながることを目指している。タイ北部の山岳民族への支援・交流として、定期的な寄付のほか、タイの民芸品を販売した収益金で山岳民族の子供たちの就学支援も行っている。県内外の大学生からなるスタッフが企画・運営を担うことによって若者の社会的自立につながるとともに、地域の様々な活動に関わることで、地域の活性化にも貢献している。



(2) 特定非営利活動法人ホース・フレンズ事務局 (大阪府)

ホース・フレンズ事務局は、馬の持つ人の心身への癒し効果を活用し、不登校やひきこもり・ニート等の状態にある子供や若者に対し、乗馬や馬の世話などを体験してもらう支援プロ

グラムを実施している。アニマル・セラピーの中でも、馬を使うプログラムは医療・教育・スポーツ・レクリエーション・コミュニティの多面的な要素を併せ持ち、一般的な支援プログラムとは全く違った効果で、多くの子供・若者の心身の回復に貢献している。ホースセラピー専用の牧場で実施しているケースは全国にも例が無く、独自性の高い活動である。近年は、馬事業界全体が協力して各種イベントを行うこともあり、ホースセラピー活動の更なる普及が期待されている。



(3) 京都府菓子工業組合青年部（京都府）

京都府菓子工業組合青年部は、和菓子を通じた食育の推進や京都の食文化の継承を目的に、児童生徒を対象とした体験型の和菓子教室を実施している。和菓子の素晴らしさや芸術性、職人の技などを五感で感じることで、子供たちが食の大切さや食の安全を考えるきっかけとなる活動である。地元大学茶道部との協同開催や地域住民が参観できる自由参観の日に合わせた菓子教室を開催するなど、地域住民にも広く周知を図りながらの多様な活動を展開することにより、地域交流や職業体験の場を提供している。



「社会貢献青少年表彰」(内閣府特命担当大臣表彰)

(1) オホーツク地域青年活動プロジェクト（北海道）

オホーツク地域青年活動プロジェクトは、ドイツ・ミュンヘンの「ミニ・ミュンヘン」という世界的に注目されているプログラムを参考に、地域の子供たちが自ら企画・運営する子供たちのまち「オホーツクMini（ミニ）タウン」を実施している。ミニタウンでは、子供たちが自分の好きな仕事を見つけて働くと、「KIT」（キット）というお金がもらえ、買い物や食事などの好きなことができる仕組みである。子供たちが多種多様な体験に触れることにより、その健全な成長が促進されるほか、就労による納税等を通して、まちづくりの基本となる自治意識の醸成が図られることも特徴であり、他に類を見ない活動である。



(2) さいもんめ (京都市)

さいもんめは、50年以上にわたり、京都の大学生が中心となり、市内の児童福祉施設を週2回定期的に訪問し、両親のDV問題や児童虐待、情緒が安定しない、対人関係を築きにくい、発達障害等様々な事情や課題を抱えた子供たちと積極的に関わっている。毎年主催しているキャンプは、子供たちが自立心を高め、自然の中で過ごす貴重な経験であり、同会の学生が自分の個性を生かしたユニークな活動を展開し、毎回子供たちを楽しませている。定期的に継続して子供たちと関わり、遊びの提供や学習支援を通して関係を深めることで、安心して関わることのできる相談相手として、子供たちの心のケアに欠かせない存在となっている。



上記のほか、以下のコラムを掲載している。

【コラム2】

長野県「通学合宿普及・啓発事業」

～地域はみんなの宝島 こどもがまんなか みんなで「ずく」出し楽しもう!～

【コラム3】

「新しい東北」の創造に向けた取組

【コラム4】

公益財団法人北海道青少年育成協会「北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業」

～若い力で地域を活性化し、元気を生み出そう!!～

【コラム 5】

「JENESYS2.0」及び「KAKEHASHI Project」

【コラム 6】

耕すシェフ（総務省地域おこし協力隊）の活動
～若者と女性は魅力ある地方を目指す～

【コラム 7】

アウトリーチ（訪問支援）とは

【コラム 8】

法務少年支援センターの地域援助業務について

【コラム 9】

更生保護における社会貢献活動

【コラム 10】

「子供の未来応援国民運動」発起人集会

【コラム 11】

ブラジルから来た先生
～愛知県豊田市立保見中学校教諭伊木ロドリゴさん～

【コラム 12】

LGBT（性的少数者）である子供・若者の置かれた現状を学ぶ

【コラム 13】

「全国いじめ問題子供サミット」の開催について

【コラム 14】

放課後児童健全育成事業と放課後子供教室の一体的な運営

【コラム 15】

宮城県「ネクストリーダー養成塾」

【コラム 16】

青少年の健全育成に取り組む民間団体

【コラム 17】

内閣府子ども・若者育成支援のための地域連携推進事業
「青年リーダー研修会」

【コラム 18】

INAGAWA スマホサミット

【コラム 19】

青少年教育施設を活用したネット依存対策研究事業
～セルフチャレンジキャンプ～